

記入例 1

収入の記入のしかた

※書字による例示については、実際のご記入では色を変える必要はありません。

◎ 現金で受け取った場合の例
(勤労者世帯)

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数量 単位	(4) 現金支出 (円)
1 世帯主 10月分 本給	293,200		
2 扶養手当	6,500		
3 通勤手当	15,300		
4 所得税			6,880
5 住民税			24,300
6 健康保険料			12,390
7 公的介護保険料			1,785
8 厚生年金保険料			23,025
9 雇用保険料			1,260

*給料は、税引き前の額を「現金収入」欄に、また、給与から差し引かれた額を「現金支出」欄に、それぞれ種類別に記入します。

*家族の給料についても、同じように記入します。

← *厚生年金基金などは、分けて記入します。

(現金収入の合計315,000円と現金支出の合計69,640円の差が、現金手取分245,360円になります。)

(無職世帯)

1 老齢年金(厚生年金)	255,300		
2 公的介護保険料			3,800
3 家賃収入 11月分	100,000		

← *年金はどのような種類のものか詳しく記入します。

◎ 口座自動振込した場合の例
(勤労者世帯)

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数量 単位	(4) 現金支出 (円)
1 世帯主 10月分 本給	293,200		
2 扶養手当	6,500		
3 通勤手当	15,300		
4 所得税			6,880
5 住民税			24,300
6 健康保険料			12,390
7 公的介護保険料			1,785
8 厚生年金保険料			23,025
9 雇用保険料			1,260
10 給料 口座自動振込分			245,360

*給料の明細を、「現金で受け取った場合の例」と同じように記入します。

← *口座自動振込額は、現金でもらってすぐ預貯金したと考えますので「現金支出」欄に記入します。

※ 給料の一部を現金で受け取り、残りを口座自動振込した場合
給料差引文給額245,360円のうち100,000円を現金で受け取ったときは、給料口座自動振込分に145,360円と記入します。

(無職世帯)

1 世帯主 老齢年金(厚生年金)	255,300		
2 公的介護保険料			3,800
3 口座自動振込			251,500

*口座自動振込は、手持ち現金に動きがなく、記入もれになりやすいので注意してください。

III

記入例 2

支出の記入のしかた

数量・単位の記入

*購入した品目の数量は、1山、1袋、1尾、1本などと記入せず400グラム、1800ミリリットル（又は、400g、1800ml）などのように量目で記入します。

各期の第1日目（1日又は16日）に、前日から繰り越した手持ち金額を記入します。

品名などの書き方

*「うどん・そば」は、ゆでたものか干したものかを区別して記入します。

*「魚」「肉」「野菜」「パン」などではなく、品名を具体的に記入します。

*誰が使うものかを記入します。

*何に使うためかを記入します。

*月ぎめの牛乳、新聞などは、代金を支払った日に「現金支出」欄に記入します。（日々の掛買いととはしません。）

I 現金収入又は現金支出		前期からの繰越金 (手持ち現金)	83,060 円
(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数量 単位	(4) 現金支出 (円)
1 中びうどん		400 ㇿ	320
2 あじ(生)		430 ㇿ	330
3 かき(貝)		460 ㇿ	400
4 豚肉		330 ㇿ	630
5 ほうれん草		300 ㇿ	186
6 バターロール(8ㇿ入り)		280 ㇿ	200
7 靴下(世帯主)		2 足	1,050
8 ホロシャツ(長女)		1 枚	2,625
9 リンゴ(病気見舞い)		1,850 ㇿ	1,800
10 すし出前(乗客用)		4 人前	4,800
11 エアコン月賦支払初回分			26,000
12 酒屋掛買ひ支払10月分			4,500
13 牛乳代10月分(2ㇿmlㇿㇿ)		6,000 ml	2,835
14 〇〇新聞 10月分			3,925
15			
合計			49,601
		本日の現金残高	33,459 円

II クレジットカード、掛買ひ、月賦による

購入又は現物(もらい物・現物給与を含む)、自家産、自分の店の商品

- * 掛買ひで購入したときは、「1」一括払い購入、月賦で購入したときは、「2」分割払い購入を○で囲みます。
- * 現物とは、よそからもらい物をした時、勤め先から定期給等を支給された時などです。また、自家産のものや自家店に取り入れたり、自分の店の商品を家計にまわしたりした場合をいいます。
- * それらの現物を入力した際には必ず記入します。

クレジット、掛買ひ、月賦購入

*品物を入手したとき、その都度品名、数量を記入します。

*家電製品、家具、自動車などを月賦(分割払い)で購入したときは「価格総額」を、また「支払回数」も記入します。

*一括(1回)払いの場合は、「1」一括払い購入を○で囲みます。

*クレジットカードで購入した場合は、「クレジット名」と「支払回数」を記入します。他人にあげた場合は、その旨明記します。

*バック旅行については、国内か海外かを分けて記入します。

(1) 品名及び購入方法 <small>その該当するものをのて記入してください。</small>	購入方法					(2) 数量 単位	(3) 金額 <small>(もらい物・現物給与を含む)自家産、自分の店の商品は見直し額</small> (円)
	1	2	3	4	5		
1 エアコン月賦購入6回払	1	2	3	4	5	1 台	126,000
2 背広(世帯主)〇〇カード10枚	1	2	3	4	5	1 着	42,000
3 清酒	1	2	3	4	5	1,800 ml	1,800
4 婦人靴(知人)〇〇クレジット10枚	1	2	3	4	5	1 足	10,290
5 海外バック旅行(長男)	1	2	3	4	5	1 人	159,800
6 しょう油	1	2	3	4	5	1,800 ml	570
7 みど	1	2	3	4	5	1,000 ㇿ	500

備考 { ここには、この日の記入内容で特に説明を要することや参考になることがあれば記入してください。例えば、世帯にいない人の収入や支出があった場合は、その事情を簡単に記入してください。 }

「自動車購入費」「バック旅行費」「住宅設備工事費」「婚礼費」「法事・葬儀費」「入院費」のような高額な支出は、家計簿への記入が忘れがちになります。これらへの支出があった場合も、忘れずに家計簿へ記入してください。

※青字による例示については、実際のご記入では色を変える必要はありません。

金額の記入

現金払い、掛買い、月賦購入を問わず、原則として品名ごとに税込みの購入金額を記入します。

2日(水曜日)

I 現金収入又は現金支出

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入(円)	(3) 数量	(4) 現金支出(円)
1 普通預金引き出し	80,000		
2 遊学中の長男に仕送り			90,000
3 ピアノ教室月謝(11歳長女)			5,000
4 空ビン代	50		
5 内職収入(専)洋服仕立	30,000		
6 花老酒(知人へ)		1,400 ml	693
7 ビール風飲料(自宅用)		1,400 ml	450
8 カソリン		30 L	4,350
9 自動車洗車・ワックス			1,890
10 とうもろこし		1 J	150
11 電気代 10月分		285 kWh	7,137
12 (内科診療費(専))			1,200
13 (胃薬(専))			600
14 床屋(世帯主ニカみゆら)		(1回)	3,000
15 ケーキ(世帯主ニカみゆら)		(6個)	1,575
合計	110,050		11,470
		本日の現金残高	32,039円

* 預貯金引き出しは、「現金収入」欄に記入します。

* 誰のどのような収入かがわかるように記入します。
内職収入は、その材料費などを差し引いた正味の手取り額を記入します。

* 電気代、ガス代、家賃など毎月きまって支払うものは、特に記入もれがないように注意します。
口座自動振替の場合は1ページの「口座自動振替による支払」に記入します。

* 誰が、何科にかかったかを記入し、受診料と薬代は分けて記入します。ただし、院内処方薬代は、受診料と区別する必要はありません。

* 「こづかい」から支払った場合は、数量と現金支払金額を()書きし、その金額は「現金支出」の「合計」欄及び「本日の現金残高」欄には含めません。

II クレジットカード、掛買い、月賦による

購入又は現物(もらい物(現物給与を含む)、自家産、自分の店の商品)

- * 掛買いで購入したときは、「1」一括払い購入、月賦で購入したときは、「2」分割払い購入を○で囲みます。
- * 現物とは、よそからもらい物を受けたり、勤め先から賞与を受けたりした掛買、また、自家産のものを家計に取り入れられたり、自分の店や商品を売店にまわしたるものも現物と見做ります。
- * それらの品物を入手した日に必ず記入します。

(1) 品名及び購入方法 <small>その取得するものを○で囲んでください。</small>	購入方法					(2) 数量 <small>単位</small>	(3) 金額 <small>(もらい物・現物給与を含む)自家産、自分の店の商品は現物と見做ります。(円)</small>
	1	2	3	4	5		
1 JR定期券(世帯主会社)		2	3	4	5	1 か月	5,400
2 タオルシーツ		2	3	4	5	1 枚	3,150
3 豆腐		2	3	4	5	150 g	200
4 きゅうり(知人へ)		2	3	4	5	2,000 g	770
5 うるち米(長男へ)		2	3	4	5	10 kg	4,200
6 化粧石けん(知人から)		2	3	4	5	6 個	1,000

もらい物、自家産、自分の店の商品

* 何を、どこから、入手したかがわかるように記入します。

* 勤め先から支給された場合

* 自分の店の商品を家計で消費した場合

* 品物の価格を市価で見積もって記入します。

備考

V

記入例 2-2

電子マネー、商品券、小切手などの扱い

電子マネーとは、現金の価値を電子式なデータに置き換えたもので、これを使って品物の購入ができます。カード型や携帯電話型のものなどがあります。

プリペイド（前払い）方式の電子マネー（カード型、携帯電話型など）、商品券、小切手などの扱い

プリペイド（前払い）方式とは…電子マネーを使って品物の購入をするために、あらかじめ、カードや携帯電話に現金をチャージ（入金・積み増し）しておく必要があるもの。チャージした金額の範囲内で品物の購入ができます。主な電子マネーとしては、Suica（スイカ）、ICOCA（イコカ）、PASMO（パスモ）、Edy（エディ）、nanaco（ナナコ）、WAON（ワオン）、おサイフケータイなどがあります。

- *カードが発行されたときに、デビット（預り金、保証金）やメンバーズカード作成料を支払った場合
- *チャージ（入金・積み増し）をしたとき
- *商品券（多用途に使えるもの）、小切手を受け取ったときは、現金収入とみなして記入しますが、その金額は（ ）書きし、「現金収入」の「合計」欄及び「本日の現金残高」欄には含めません。
- *贈り物にする予定で購入した場合は、必ず「贈答用」などと記入します。
- *電子マネーで電車やバスに乗り降りしたり品物を買った場合や、商品券（多用途に使えるもの）、小切手で品物を買った場合は、現金支出とみなして記入しますが、数量と支払金額は（ ）書きし、「現金支出」の「合計」欄及び「本日の現金残高」欄には含めません。

3日（木曜日）

I 現金収入又は現金支出			
(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数量	(4) 現金支出 (円)
1 預り金 (スイカ)			500
2 メンバースカード作成料 (エディ)			500
3 チャージ (スイカ)			1,000
4 チャージ (エディ)			1,000
5 商品券 (知人から)	(5,000)		
6 商品券 (自宅用)			10,000
7 商品券 (贈答用)			5,000
8 JR運賃 (スイカ)		()	220
9 コffee (エディ)		(1 杯)	120
10 子供用電子マネー (エディ)		(1 枚)	2,500
11 プラス (エディ)		(1 枚)	4,000
合計	0		18,000
			本日の現金残高 14,039 円

II クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は現物 (もらい物・現物給与を含む)、自家産、自分の店の商品

* 掛買いで購入したときは、「1」一括払い購入、月賦で購入したときは、「2」分割払い購入を○で囲みます。
 * 現物とは、よそからもらい物をしたり、贈り物・お祝い金等を支給されたりした場合は、また、自家産のものを実計に取り入れ、自分の店の商品を家計にまわした場合は○をいいます。
 * それらの品物を入手した際必ず記入します。

(1) 品名及び購入方法 <small>おのれが得たものを○で囲んでください</small>	購入方法					(2) 数量 単位	(3) 金額 <small>もらい物・現物給与を含む自家産・自分の店の商品は見取り額 (円)</small>
	1 一括払い購入	2 分割払い購入	3 もらう	4 自家産	5 自分の店の商品		
1 テレホンカード (知人から)			①			1 枚	1,000
2 図書カード (知人から)			①			1 枚	1,000

- *用途が単一のカード・券は、入手したときに記入します。

ポストペイ（後払い）方式の電子マネー（カード型、携帯電話型など）の扱い

ポストペイ（後払い）方式とは…クレジットカードとほぼ同じ方法で品物の購入をすることができるもので、一定の期間内に電子マネーを使って品物の購入をした場合、その購入金額はその期間の後にまとめて支払うこととなります。主な電子マネーとしては、PiTaPa（ピタパ）、QUICPay（クイックペイ）、iD（アイディー）、Smartplus（スマートプラス）、おサイフケータイなどがあります。

II クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は現物 (もらい物・現物給与を含む)、自家産、自分の店の商品

* 掛買いで購入したときは、「1」一括払い購入、月賦で購入したときは、「2」分割払い購入を○で囲みます。
 * 現物とは、よそからもらい物をしたり、贈り物・お祝い金等を支給されたりした場合は、また、自家産のものを実計に取り入れ、自分の店の商品を家計にまわした場合は○をいいます。
 * それらの品物を入手した際必ず記入します。

- *品物を買った場合、クレジットカードによる支出とみなして記入します。
- *なお「PiTaPa（ピタパ）」で電車やバスなどに乗車した場合は、乗車した日には記入しないで、後日、口座自動振替があった日に「口座自動振替による支払」欄に、交通運賃以外のものと分けて記入します。

(1) 品名及び購入方法 <small>おのれが得たものを○で囲んでください</small>	購入方法					(2) 数量 単位	(3) 金額 <small>もらい物・現物給与を含む自家産・自分の店の商品は見取り額 (円)</small>
	1 一括払い購入	2 分割払い購入	3 もらう	4 自家産	5 自分の店の商品		
1 週刊誌 (クイックペイ)		①				1 冊	400

記入例3 口座自動振替による支払の記入のしかた

※青字による例示については、実際のご記入では色を変える必要はありません。

口座自動振替制度を利用している場合

お家で銀行などの口座自動振替制度を利用して、公共料金やクレジットカードなどで購入した品物の代金を預貯金口座から支払っている場合は、領収通知票などにより支払の種類、金額を確認した上で、その都度次の「口座自動振替による支払」のページに記入してください。

(口座自動振替制度とは……あらかじめ銀行などとの契約によって、定期的に預貯金口座から契約先(購入先)に支払われる方法をいいます。)

★ 小切手で買物をした場合は、次の「口座自動振替による支払」のページには記入しません。この場合は、預貯金を引き出して現金で購入したとみなし、「I 現金収入又は現金支出」のページに記入します。

口座自動振替による支払

領収通知票などにより、支払分の数量を記入します。

支払内訳(種類、品名等)	今月の支払分	
	数量	金額(円)
1 電気料金(8月分)	243 kWh	5,727
2 深夜電力(8月分)	55 kWh	945
3 都市ガス料金(8月分)	45 m ³	6,344
4 プロパンガス料金(月分)	m ³	
5 水道料金(7月~8月分)		5,573
6 NHK放送受信料金(8月~9月分)		2,690
7 ケーブルテレビ受信料 <small>(インターネット料をきく)</small> <small>(インターネット料をきく)</small> (8月分)		3,600
8 インターネット接続料(8月分)		990
9 固定電話料金(8月分)		6,362
10 携帯電話料金(8月分)		3,755
11 新聞代 <small>(一般社団法人新聞協会)</small> ・その他(8月分)		3,925
12 住宅ローンの返済(月分)		
13 家賃(9月分)		80,000
14 共益費又は管理費(9月分)		2,000
15 月極駐車場料金(9月分)		19,000
16 学校給食費(次男、小学校)(9月分)		3,030
17 学校授業料(月分)		
18 PTA会費・教材費(長男、中学校)(9月分)		300
19 国民年金掛金(妻)(9月分)		14,140
20 傷害保険料(積立・掛け捨て)(世帯主 9月分)		3,200
21 学資保険料(積立・掛け捨て)(長男 9月分)		13,200
22 保険料(積立・掛け捨て)(月分)		
23 ガス湯沸器 月賦代 2回目		4,000
24 OOLLET 専らハンドバッグ(一括)		7,980
25 PTA会費(次男、小学校)(9月分)		300
26		
合計		186,861

*器具代・工事費などが含まれている場合は、使用料と区別して下欄「23」以降に記入します。

*インターネット接続料が区別できる場合は別々に記入します。

*該当するほうを○で囲み、金額を記入します。

*携帯電話とは、携帯電話、PHS等をいいます。

*保険の種類及び何月分の支払いかが分かるように記入し、積立型か掛け捨て型か該当するほうを○で囲みます。

*クレジットカードを利用して購入した品物の代金を月賦で支払った場合は「月賦」と記入します。何回目の支払かも記入します。内訳が不明の場合は一括記入で結構です。
品物を購入した時は、品名、価格総額、支払回数をその日の「II クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は現物」欄に記入します。

*同一項目が複数になる場合は、下欄「23」以降に分けて、性質・目的が分かるように、また、○月分・○期分のようにいつの支払い分かを付記します。